

# 915-925MHzの携帯電話との共用条件

平成23年4月4日

ユビキタスネットワークワーキングフォーラム  
UHF帯電子タグシステム標準化WG

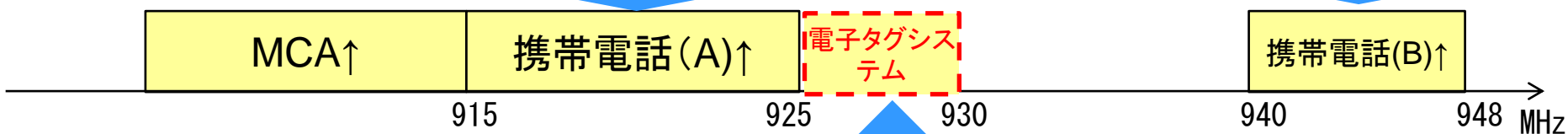
# 1. 今後の920MHz帯の割当状況等

925～930MHzは、携帯電話(A)と携帯電話(B)のガードバンド内に位置するため、H23夏頃の電子タグシステムの制度化後、電子タグシステム等のうち925MHzを超える周波数については、適切なガードバンドを設定すること等により、H24.7.24までの暫定的な期間、共用が可能となることが想定される。

H24.7.24までの割当状況

H24.7.24まで

H24.7.24まで



H24.7.25～H27

「携帯電話(A)↑」  
移行後使用可能



H27以降



## 2. 提案条件

電子タグシステムに関する過去の答申(委員会報告)を参照した結果、暫定的に925MHz以下を使用する携帯電話システムに対して、1MHzのガードバンドを設け、926～928MHzの2MHzを使用することが可能と考えられるため、以下の条件を提案します。

- 20mW設備： 2MHzオフセット
- 1mW設備： 1MHzオフセット

### 【参照委員会報告】

- ① 平成16年12月15日一部答申「高出力型950MHz帯パッシブタグシステムの技術的条件」における小電力無線システム委員会報告第5章5.2.2 PDCへの干渉 及び 5.2.3 IMT-2000への干渉 の項にて2MHzオフセットにより共用可能(同参考資料2並びに3)と報告
- ② 平成19年12月14日一部答申「高出力型950MHz帯アクティブ系小電力無線システムの技術的条件及び950MHz帯パッシブ系小電力無線システムの高度化に必要な技術的条件」における小電力無線システム委員会報告第5章5.2.3 IMT-2000への干渉 の項にて、検討の周波数条件として20mW:2MHzオフセット、1mW:1MHzオフセットで共用検討が行われたことが示されている。

### 3. 干渉調査の基本的な考え方

◇ 前頁 (SLD 3頁) の「2. 提案条件」記載

- 20mW設備: 2MHzオフセット
- 1mW設備: 1MHzオフセット

の条件に基づき、干渉調査を実施

◇ アクティブシステムと、現行の915MHz-925MHzの携帯電話システムの組合せにおいて、アクティブシステムから放射される干渉波により、携帯電話システム基地局 (RX) 等が受ける影響について調査

◇ 携帯電話システムから放射される干渉波については許容するものとし、アクティブシステムが携帯電話システムから受ける影響については考慮しない

## 4. 干渉調査方法

過去の情通審における干渉調査方法を踏襲する。

- (1) 1対1の対向モデルで最小離隔距離を検討
- (2) 現実的な設置条件に近い調査モデルとして、アンテナ高低差等を考慮した検討を実施
- (3) 対象となる無線機が移動を伴う場合において、1対1の対向モデルでは、共用可能性が判断できない場合、確率的な検討を行う

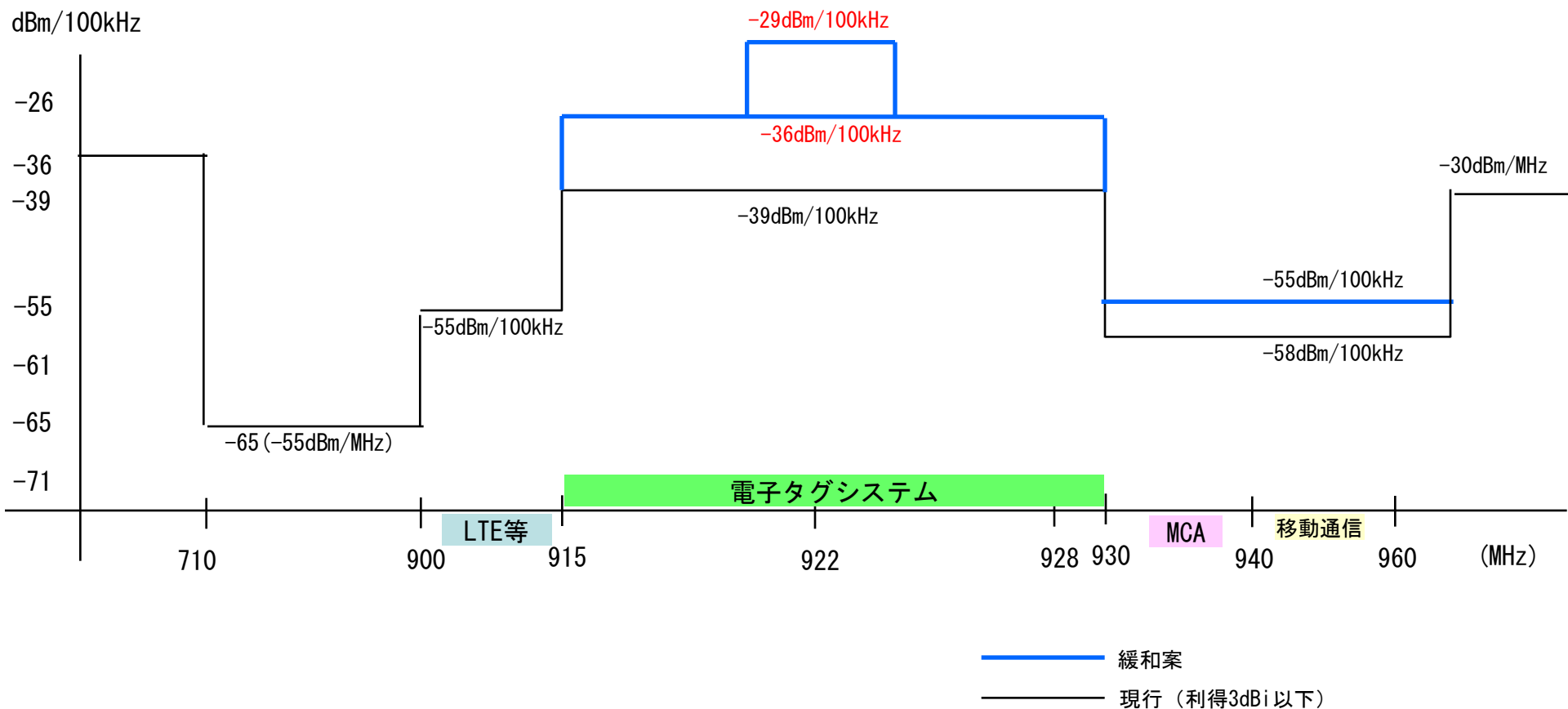
## 検討パラメータ：アクティブシステムの送信パラメータ

### 干渉調査に用いるアクティブシステムの送信パラメータ

	アクティブシステムのタイプ	
	1mWタイプ	20mWタイプ
送信出力	0dBm	13dBm
不要輻射の強度	スプリアスマスクはSLD 7,8を参照	
アンテナ利得	3dBi	
アンテナ高	20mW : 1.5m / 15m 1 mW : 1.5m	

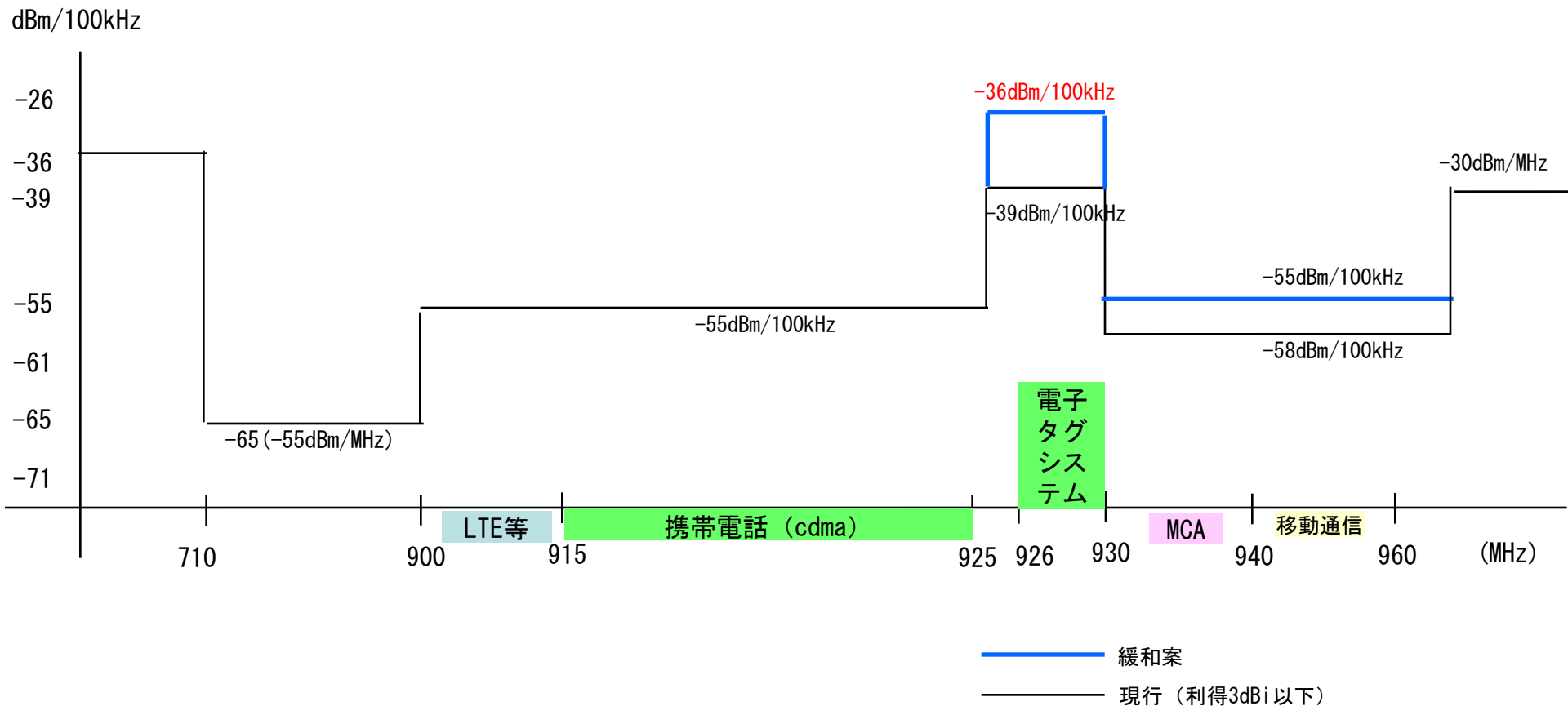
# 検討用スプリアスマスク条件 (H24.7.25以降)

## アクティブシステムの不要発射の許容値の規定



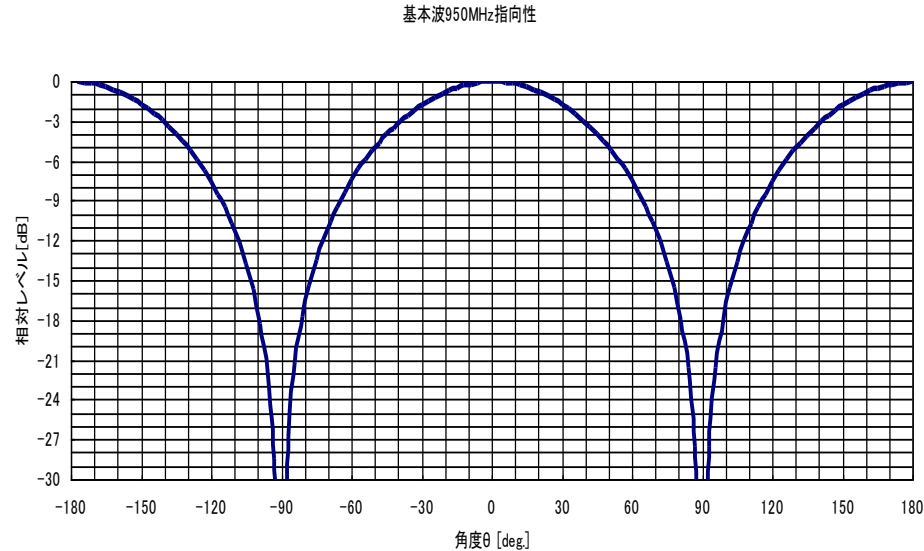
## 検討用スプリアスマスク条件 (H24.7.24まで)

# アクティブシステムの不要発射の許容値の規定 (915-925MHz携帯電話システムとのGB検討用)





## 検討パラメータ : アクティブタグシステムのアンテナ指向特性



### アクティブタグシステムのアンテナ指向特性（水平面）

※ アクティブタグシステムの垂直面内のアンテナ指向性は、無指向性とした

\*情通審 情報通信技術分科会  
小電力無線システム委員会報告(H21.12)引用